

平成29年度事業報告書

テーマ：地域に開かれた法人として関わりを深め、安心できる暮らしの支援

サブテーマ：サービスの必要な方が頼れる場所として地域に貢献していく

部署名：白楽荘みくに湊・短期入所生活介護

- <概要>
1. ショートステイでは、家族事情の急な依頼でも、本人の拒否にならないよう努めた。
 2. 介護度や家庭環境の違う方が利用する中で、事故防止に努め、安心、安全なサービスを提供した。
 3. 在宅での生活に沿ったケアを多職種で実施した。
 4. 利用者の望んでいるサービスを提供した。
 5. インフォーマルなサービスを活用し日常とは違った刺激や楽しみを持たせた。

- <総括>
1. ユニット型個室、多床室での受け入れは、利用の希望に応じて急な依頼も情報確認した上で、関係者へ迅速に情報提供を行い、本人拒否に繋がらず利用ができた。2月の豪雪の影響は、公道除雪が追いつかず10日間程は送迎を中止したために延長希望者が数名あり、不足分の内服薬を家族に持参してもらった。
 2. 3ヶ月毎に食事・排泄・入浴の3大ケアについて、声掛けの方法を職員間で検討、ケアの確認を行い、統一したケアの実施ができた。
 3. 相談員からの情報を多職種で共有、確認し合うことができた。介護支援専門員が相談員からの情報と在宅サービス計画書をもとに、短期入所計画書を作成し、自立支援サービスの実施ができた。
 4. 聞き取りシートを活用してできるケアを取り入れ、日々の状態変化に合わせて無理のない

サービスに努めた。一人ひとりに合わせた作業療法を取り入れ、関わりを深めることができた。

5. 月に一度、コーヒーボランティアやお話しボランティアに依頼し、日常とは違った香りや関わりの中で楽しみを持つ事ができた。また、文化祭などの行事には歌と踊りのボランティアを依頼して昭和歌謡を共に歌い、また各クラブ活動作品の展示を鑑賞し楽しんだ。